

トマホークの配備を許すな！全国運動

第10回全国会議

1988年11月4日～6日

東京都町田市：生活クラブ町田センター



トマ喰い虫 一歩いっぽの 飛躍かな

1984年1月末の横須賀会議で反トマ全国運動が発足してからもう五年近くになります。全国会議も今回で第10回を数えることになりました。戦後日本の一大転換期に私たちなりに知恵と力を集めて日本の民衆の新しい未来を創造するための一歩一歩の作業を続けてきました。「地球的に考え地域で行動する」という反核運動のすばらしいスローガンを、日本の反基地運動の伝統の上に生かして来たように思います。

一年にわたるホットな反母港化運動にもかかわらず、米海軍の2隻のトマホーク艦が横須賀を母港にしてしまったいま、私たちはもう一度、何をどこまで達成できたのかをじっくりと考えて見たいと思います。

日本をとりまく情勢は大きな変化の兆しを見せています。海洋核への関心の高まり、ソ連のアジア・太平洋戦略の変化、朝鮮半島の流動……。私たちの運動の次の着実な一歩は何なのでしょう。アジア・太平洋の人たちの息吹きに触れながら、新しい飛躍をとげたいものです。

ぜひ会議にご参加下さい。

プログラム *

11月4日(金)

<議題の整理・準備> 午後7時～11時

反トマ全国運動の全国運営委員と事務局を中心に運営するインフォーマルな会議です。もちろん希望者は参加できます。

11月5日(土)

<受付開始> 午前9時～

<開会と事務連絡> 午前9時30分～

<報告> 午前10時～

●トマホーク艦母港化反対運動

横須賀市民の会 …………… 新倉裕史(非核市民宣言運動・ヨコスカ)

神奈川県民運動 …………… 皆川みず糸(上瀬谷基地はいらないウドの会)

●反トマ九州ネットワーク …… 佐々木竹一・神田公司

●広島・呉・岩国の反核反基地運動

…………… 林修二・湯浅一郎

(それぞれの報告のあと質疑応答)

<ランチタイム> 正午～午後1時20分
ビデオ上映 「シドニー平和船団」

<問題提起> 午後1時20分～

●反トマ運動の現状と今後 …………… 田巻一彦(反トマ通信編集長)

●日本の反核・反基地運動の課題

…………… 前田哲男(軍事評論家)

韓国の反核運動 …………… 徐東暎(ソ・トンマン、現代史研究会)

(それぞれの報告のあと質疑応答)

<ティーブレイク> 午後3時20分～40分

<自由討論> 午後3時40分～

問題提起への意見、グループ報告、デイビス・レポート、反核ホットライン、平和船団などなど

<サパータイム> 午後5時50分～7時10分
ビデオ上映 「1988・夏 ヨコスカ」ほか

<スライド報告> 午後7時10分～

●シドニー会議と太平洋運動 …… 神田公司(熊本市民センター)

<提案> 午後7時50分～

●運動・運営方針 …………… 梅林宏道(コーディネーター)

●財政報告と方針 …………… 水野希代子(会計担当)

この時点までに出席された意見をまとめながら今後の方針についての提案をする

<討論> 午後8時30分～

提案についての討論

<交流会> 午後10時～

11月6日(日)

<討論とまとめ> 午前9時～

昨日の討論をひきつぎながらまとめる

<閉会> 午前11時

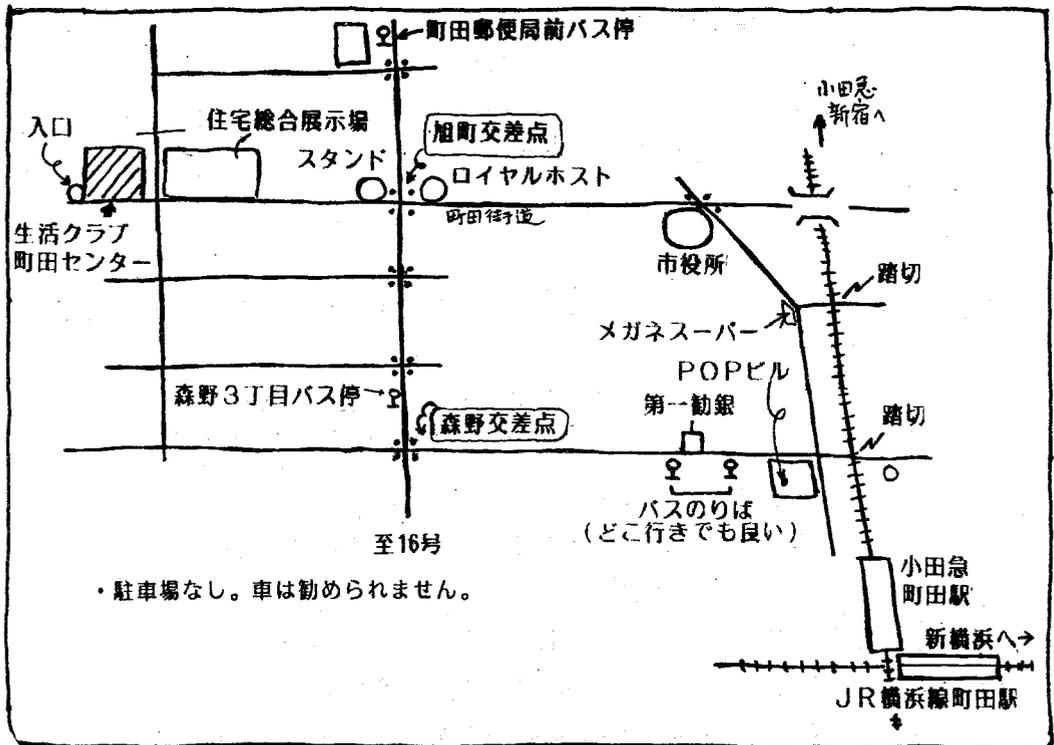
(午後2時から始まる三里塚の集會に参加する人はここで出発。残りの人たちで片づけ)

* 多少の変更があるかも知れません。

■会場案内

生活クラブ町田センター 町田市旭町1-23-2 ☎0427(27)0222

- ・小田急線・JR横浜線「町田駅」下車。小田急の新宿寄り出口を出る。JRから来る人も、小田急線のビルをくぐって新宿寄り出口へ。(新宿-町田、急行35分)
- ・東海道新幹線から来る人は「新横浜」に止まる「ひかり」に乗ってそこで横浜線に乗り換えて下さい。(新横浜-町田、25分)
- ・町田駅より生活クラブ町田センターまで徒歩15~20分。市役所経由の道が近い。町田駅より生活クラブ町田センターまでバス5分、「森野3丁目」が「町田郵便局前」下車。下車後徒歩5分。計10分。



■費用

- ・参加費 5,000円 (旅費プール*、会場費、資料代、通信費、お茶など)
*九州、北海道など遠距離から参加する人たちの旅費の半額位をみんなで負担するための費用。
- ・その他の費用 一泊のふとん代 1,000円 (寝袋を持ってくれば不要)、朝食300円、昼食500円、夕食500円、交流会500円。

■申し込み

食事、ふとんの予約がありますので、10月末までに下記に申し込んで下さい。

トマ喰い虫社：〒150 渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502号

☎03(498)6095、044(63)5101

韓国代表をPCDS・シドニー会議に送るためのカンパにご協力下さい。

PCDSはPacific Campaign to Disarm the Seas(海の軍備撤廃を！太平洋運動：事務所＝メルボルン)の略称です。去る9月22日～30日、オーストラリアのシドニーでPCDSの運営会議が開かれましたが、私たちはこの会議に韓国からの代表を招こうと提案し、努力してまいりました。いまや、韓国の非核化、朝鮮半島の統一が、アジア・太平洋全体の軍縮にとって中心テーマとなりつつあると考えたからです。また、米海軍のトマホーク艦の日本母港は、韓国の人々の運命と密接に関係しており、草の根市民の国境を越えた地道な協力が必要だと考えたからです。

幸い、私たちの努力は実を結び、韓国の反核運動のパイオニアの一人である印名鎮（インミョンジン）牧師が一日遅れで参加され、太平洋を囲む国々の代表と起居をともにしながらじっくりとした話し合いの場を持つことができました。印牧師の参加は本当に有益な情報を私たちにもたらし、そのお陰で、単に連帯の号令ではなくて、欠けた鎖の輪を一つ一つ埋めてゆくような国際協力の筋道について話すことができたと思います。

会議には、現在シドニー大学で研究しており、アメリカの核戦略についての世界的権威であるピーター・ヘイズ氏（「核戦争の最前線・日本」の著者の一人。1987年「朝日新聞社」刊）も参加しました。彼は現在朝鮮半島問題に最大の関心を注いでおり、印名鎮牧師にとってもまたとない出会いの場となりました。

会議の詳しい報告は、ご希望に応じていたしたいと思いますが、話し合った中でとりあえず次の2つの視点が大切であったと思います。ひとつは、韓国の核を考えると陸上配備の核のみに関心が奪われがちですが、海洋核による朝鮮半島の包囲が現在のアメリカの戦略上きわめて重要であること、もうひとつは在韓米軍の動向によっては韓国軍自身の核武装が懸念されること、です。日本からの参加者は、梅林宏道と神田公司でした。

さて、本来ならば韓国代表の参加以前にみなさまに派遣費用のカンパをお願いすべきところですが、直前まで参加が実現するかどうか判らなかつたこと、公けのカンパ活動をすることによって参加への支障が生まれる可能性も考えられたこと、などのために事後のお願いになってしまいました。ソウル～シドニーの航空運賃約19万円を、日本の草の根市民の拠金で集めたいと思います。下記の要領で何卒みなさまのご協力を得られますようお願いいたします。会議の参加者全員には、師の航空運賃は、日本の草の根運動の拠金で集められることをすでに伝えておきました。

一口 2000円 一口以上

郵便振替 口座名 反トマホーク・アジア太平洋運動基金

口座番号 東京9-188928

（同封の振替用紙をお使い下さい）

なお、首都圏の方には、11月11日（金）午後6時半、渋谷勤労福祉会館（渋谷駅下車5分、公園通りパルコ前）でシドニー会議の報告会がありますので、あわせてご案内をいたします。

1988年10月

トマホークの配備を許すな全国運動

代表 梅林宏道